

# 関東龍門会報

〔〈旧制〉加治木中・加治木高女・加治木高校同窓会〕

発行人

会長 海江田 怜

発行元 関東龍門会 事務局

HP [www.ryumonkai.com/](http://www.ryumonkai.com/)

幹事長 前原 澄雄

東京都品川区西五反田 5-16-2

〈メールアドレス〉

life-is-shadow@trad.ocn.ne.jp

## 会長あいさつ

### 人生と同窓会について



関東龍門会会長  
海江田 怜  
(高・昭40年卒)

今年の2月は大変な暴風雪が吹き荒れ、東地方に45年ぶりの深さとなった積雪をもたらしました。同窓会の皆様には恙無くお過ごしでいらつしやるでしょうが、ソチの冬季オリンピックは随分盛り上がり、テレビ観戦で寝不足になられた方も多かったのではないのでしょうか。私たち客観的応援者は、やはり選手に勝つて貰いたい。しかし重荷を背負わされた選手は可愛そうですね。メダルには届かなかった選手たちにも、「よくやったよ」と声援しています。浅田真央、上村愛子選手の笑顔は良かったですね。自分なりにベストを出してこれまでに最高の滑りだったと思います。

さて、平成24年龍門のHPの会長就任挨拶の中で紹介しました、五木寛之の人生の考え方について再度述べてみたいと思います。人生を4期に分けて、社会人になるまでを「学生期」、社会人として一家をなすまでを「家住期」、社会人をリタイアしたあとを「林住期」、最後が死を見つめながら生きる時期「遊行期」ということでした。私たち同窓会にとってもっとも多数を占める方々は「林住期」を過ごされているといつてもいいのではないのでしょうか。1月30日「てんがらもん会」に招かれて出席してきました。この会は昭和26年卒の皆様と同期会ですが、ほぼ毎月開催されており、この日も約20の方が出席されて大

盛況でした。驚いたことにほとんどの方が何らかの形で現役で仕事をされていました。又詩吟同好会の主力メンバーはこの会の方々です。その会合で今吉孝夫さんから素晴らしいものを見せていただきました。昭和20年5月13日国分攻撃のグラマン戦闘機搭乗員ステファン大尉が、対空砲火にて被弾し、墜落、九死に一生を得たが捕虜となり、加治木警察署から大船捕虜収容所に送られて終戦で解放されるまでの手記を翻訳されたものです。このライフワークに取り組まれた動機は、当時の母校の被爆と被災者の報道に誤りがあり、それを確かめようとしたことのようにです。昭和20年の氏の日記を、日米の軍関係資料で事実を精査しながら編集され、ステファン大尉の手記とあいまって、素晴らしいドキュメントとなっています。書名を「誰がヒーローなのかになりたいの」といいます。大変な努力をこぎ込まれて自費出版されたものです。是非一読をお勧めします。誠に素晴らしい「林住期」を過ごしていらつしやるものと賞賛を惜しみません。私も昨年8月、67歳を目前にして、ようやく「林住期」の目標を設定しました。それは俳句の勉強です。まだ始めたばかりで、正岡子規先生によれば修学第一期なのだろうで、できるだけ沢山作って、笑われてもいいから発表し、たくさん批評を受けなさいといっておられます。何とか70歳には句集第1巻をまとめたと思っております。今年も下欄のように総会を開催いたします。「家住期」の皆さんもあつという間に「林住期」を迎えます。諸先輩の生き様に接することも同窓会の意味あるところだと思います。是非同期お誘いあわせのうえ総会にご参加下さい。幹事一同有意義かつ楽しい会にするよう工夫を凝らしてお待ちいたしております。

## 平成26年度の総会(懇親会)は 6月7日(土) 会場:三州倶楽部

### 会員の皆様へ

平成26年度

関東龍門会 総会(懇親会)開催のご案内

標記の総会(懇親会)を左記により開催いたします。かつて加中、加高女、加高に学んだ卒業生が卒年に関係なく、年に一度、一堂に集まって懇談し、交流を図るものです。どうぞ皆様お誘い合せの上、気楽にご参加ください。多数の方のご来会をお待ちしております。

〔日時〕 平成26年6月7日(土)

午後12時30分 自由懇談

13時 総会

14時 पार्टी

〔場所〕 三州倶楽部(品川区上大崎1-20-27)

TEL. 03-3447-6776

(アクセス) JR目黒駅東口下車、目黒通りを白金迎賓館の方へ約200m進み高速度路の交差点を右折、3本目の通りを左折して突き当りです。(約10分)

(同封の折り込みチラシの地図参照)

〔会費〕 男子 6000円

女子 5000円

学生 無料

★パーティでは懐かしの味：辛焼酎、加治木饅頭、ツケアゲ等を用意しています。

また『郷土料理食事券』や郷土特製グッズ等が当たる楽しい抽選会も行います。同期生、同じクラブのお仲間をお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

### (お願い)

案内状に同封した返信用ハガキで出席・欠席に問わず、5月20日(火)までに、ご返信をくださるようお願いいたします。なお、ご出席の方で今年「喜寿」を迎えられる方はお申し出ください。龍門会オリジナルのお祝品を会場でお贈りいたします。



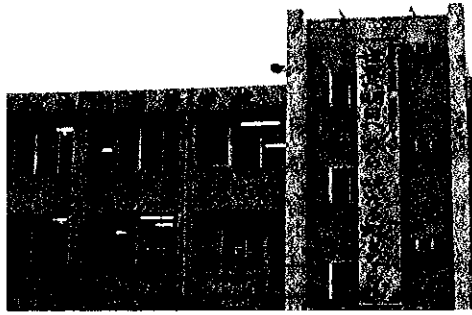


## 「加高で良かった」が98% 充実した3年間に満足

〈卒業生アンケート〉

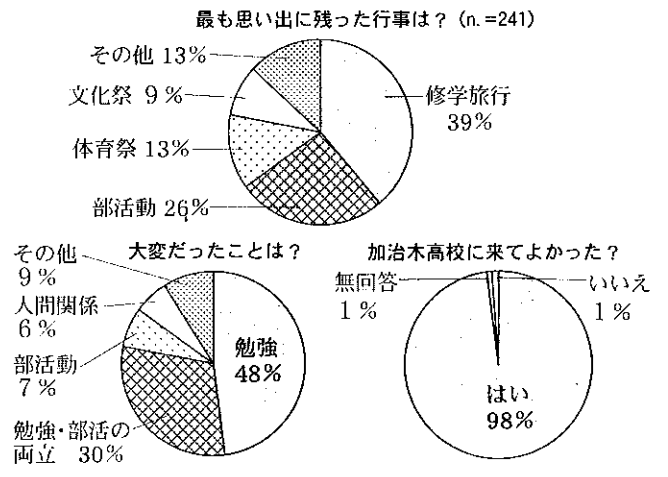
今年も265名の後輩たちが母校をあとにしました。66期の卒業生だそうです。自分が何期卒だったかを思い出すと今昔の感に堪えませんが、同時になつかしさもこみ上げてきます。

3月発行の「加高新聞」の卒業特集を見てみると、年月は隔たっても「加高精神」は脈々と受け継がれていることがうかがえます。卒業生を代表しての謝辞ともいえるべき前生徒会長細山田捺見さんのメッセージには「清心澆刺・質朴剛毅・堅忍不拔」という校是が繰り返して出てきますし、他の生徒さんの思い出集の中にも「3年かけて校是にふさわしい加高生になれた」といった記事が多く見られます。



同紙にはまた卒業生を対象としたアンケートも掲載されています。(右下のグラフ)

第一の質問「高校生活3年間で最も思い出に残った行事は何ですか」の回答としてはやはり



最大の行事修学旅行がトップで、次いで部活動、体育祭、文化祭ですが、その他の中に行事以外の「日常生活」との答えが多数あったことに同紙の編集者も驚いているようで、「3年間の生活がどれほど充実していたかをうかがい知ることができると感想を述べています。

第二の質問「大変だったことは」の回答としては「勉強」と「勉強と部活の両立」で80パーセント近くを占めているのは、やはり進学校として面目躍如。

第三の質問「加治木高校に来て良かったこと」にはなんと卒業生の98パーセントが「良かった」と答えています。厳しく鍛えられながらも、充実した高校生活を送っている様子がうかがえます。これは先生方のご指導の賜物であると同時に、その底に流れる歴史と伝統の力もあるのではないのでしょうか。

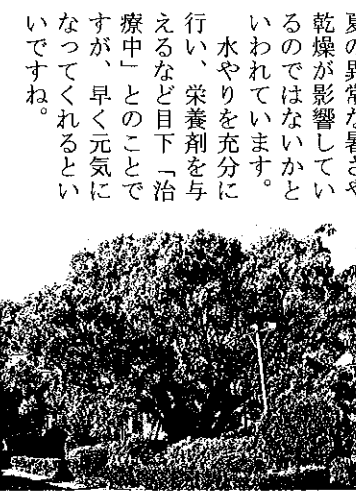
私たちの周囲に多いどこかふわふわした今どきの若者とは少し違う、足を地につけた実直な後輩たちが巣立っていく姿を見るようで、なんだか嬉しいような誇らしいような気持ちになります。

カバン・バッグが重すぎる・・・！  
重量・色合いが問題に

カバンといえば教科書とノートと筆入れの入れ物ぐらいいいか思っていなかったため、あまり記憶に残っていませんが、今の加高生のあいだでは大きな問題になっているようです。

その一つは重さ。加高生(1・2年生)のある日の登下校の持ち物の重さを計測したのが別表の一覧。重い人は16キロ、軽い人でも8キロというのですから驚きです。なにがそんなに重いのかというところ、授業に関連した参考書や書籍、それに体育着などを入れた補助バッグが加わります。これらを通学時に持ち歩くのは大変だろうと思いますが、「加高新聞」は理学療法士の専門家に取材し、肩や脚・腰に負担がかかり、姿勢や動きに悪い影響を与えるかと警告しています。

今ひとつは補助バッグの色についてです。校則には補助バッグの色は「黒・紺・茶・グ



推定樹齢200年を超え、県内でも有数の大木であるあの大楠に葉の枯れが目立ち、枯れてしまおうのでは、と生徒たちも心配しているようです。原因ははっきりしませんが、昨夏の異常な暑さや乾燥が影響しているのではないかと推測されています。

水やりを充分に行い、栄養剤を与えるなど目下「治療中」とのことですが、早く元気になってくれるといいですね。

トピックス①  
あの大楠がピンチ!!

トピックス②  
クモ合戦もいよいよ国際的に

加高近頃の始良市加治木福祉センターで行われた昨年のクモ合戦では、いつも以上に外国人の姿が目につきました。米国に本部のある世界的に有名な National Geographic (ナショナル ジオグラフィック) 協会のテレビの取材班が訪れていたのです。後日オンラインでされたほか、You Tube でも見られるとのことですが、クモ合戦もいよいよ国際的になりました。

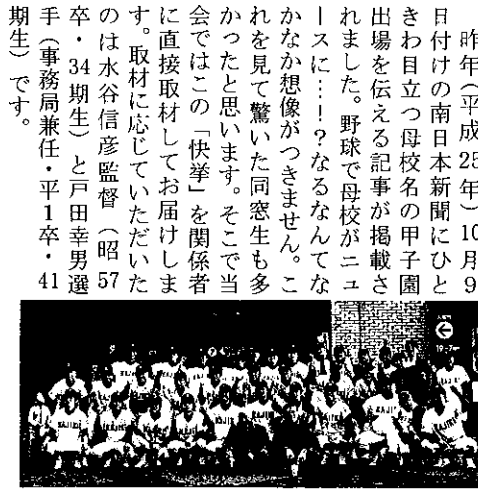
対象者	重さ(kg)	
1年生	A	16.0
	B	14.0
	C	12.8
	D	12.0
	E	15.8
	F	9.8
	G	10.7
	H	16.0
	I	8.0
	J	13.0
2年生	A	11.5
	B	10.6
	C	12.3
	D	12.5
	E	12.0

「重い」といっていい色といい、生徒たちの健康と安全を第一に考える時期かも知れません。



甲子園に「加高校歌」が……!

加治木高校野球部OBチーム  
「マスターズ甲子園」で  
全国有数の強豪チームに



◆「マスターズ甲子園」とは  
かつて甲子園を目指した元高校球児たちが社会人になり、かつて夢見た『甲子園出場』という夢の実現を目指す「大人の甲子園大会」です。平成17年にスタートしました。大会は大きく分けて2つあり①県予選で勝ち上がったチームが代表として甲子園に出場する大会(優勝校は決まれない)②それぞれの県の優勝校、準優勝校が出場してトーナメントで戦う九州大会があります。

このOB大会はいずれも歴史が浅いため大会運営ルールが発展的に変わっていき昨年から甲子園優勝チームを決める大会も開催されるようになりました。さらに、鹿児島県のローカル

ールとして前年甲子園に出場したチームは当年は出場できないということになっています。

◆選手は元野球部員で構成

メンバーは原則として元野球部員で構成されています。加高チームの現在の登録選手は約40名ですが、仕事や家庭の都合等で参加人数は毎年変動。平均年齢は35歳で50歳を筆頭に最年少は19歳です。選手はそれぞれの野球チーム、ソフトボールチームに所属したり少年団等の指導者を兼ねていて、練習に全員揃うことはまずないので一人一人が自己調整しながら参加しています。他校との練習試合といったものはほとんどなく、大会、1か月位前の週末に10人から15人ぐらいが集まり、母校グラウンドで練習しています。そして毎年3月初旬には母校の現役生との交流戦を行っています。

◆甲子園の常連チームに

我が加高野球部OBチームは創設以来僅か2年目で甲子園に初出場し、県内・九州地区では勿論、全国的にも有数の「強豪チーム」と言われるような地位を築いています。

これまでの戦績は、8回開催された甲子園大会には出場権がある5回のうち3回出場2勝1分けの負けなしです。25年全国大会では日大東北高に11対3で快勝しました。

ちなみにこの大会予選には鹿実、樟南、鹿商、鹿工等の強豪も参加しています。

◆現役生選手たちのサポートも!

水谷監督は選手たちからの人望が厚く、強い指導力で選手を纏め、今や全国でも有数のチームに鍛え上げました。一方、母校への思いも強く、今回大会へも以下のメッセージを頂きました。

「高校を卒業してからも加治木高校という名前前で試合に参加出来ることを嬉しく思っています。社会人チームとして全員が仕事と両立しながらの練習・試合等をこなしたり、また試合ではベンチ入り選手を使い切るという難しい采配もあり大変な面もあります。これまで3回、マスターズ甲子園に出場していますが、今後さらに力をつけてチーム一丸となって甲子園を目指したいと思っています。また、現役生も将来甲子園初出場出来るように、OBとしてサポートしたいと思います。昨年の大会には近畿龍門会の方々に応援に駆け付けてくださり、龍門会の繋がりに深く感動しました。今後とも同窓生皆さんの応援を宜しくお願い致します。」

“あの人”を訪ねて



今回は吉満さんを  
お訪ねして、太平洋  
戦争における知られ  
ざる秘話をお伺いし  
ました。

知られざる太平洋戦記

(昭和13年卒、旧制中37期、国分出身)



先の大太平洋戦争に従軍された旧制加治木中学の卒業生二人の思いがけない秘話が全国に報道され(朝日新聞及びNHKテレビ・月刊誌)大きな反響を呼びました。吉満さんは、このお二人の加中時代の友人で現在94歳。パソコンを巧みに使いこなしてお元気で活躍していらしゃいます。ともすると忘れ去られてしまいうような戦争秘話、しかも母校学友のお話を「語り部」として話していただきました。

■上別府宣紀君のこと



先の大太平洋戦争では私たちの学友が大勢戦死しました。その中で真っ先に思い出すのは最終学年時に同じクラスだった日当山出身の上別府宣紀君です。

(海軍大尉、海軍兵学校70期生)です。戦後60年を経た平成18年、その人間魚雷の特攻作戦で、ただ一人生き残った(エンジン故障)海軍士官が、『若者たちは、なぜ征きて還ることなき特攻作戦で出撃したか』という本を出しました。その中に特攻隊の過酷な全貌と、上別府隊長の活躍が生々しく報道されています。

私はそれを読んで大変感動し、同時に加治木中学時代の、彼のどのような思い出がこみ上げてきて涙が止まりませんでした。南海に散った彼の勇気と功績を称えたいと思います。



■小城正君のこと

写真のもう一人は隼人出身の小城正君(陸軍大尉陸士54期生)です。彼の歩兵第22連隊は、昭和19年8月、沖縄で本土防衛に当たっていました。この連隊の第一大隊長が小城正大尉で、壊滅的な打撃を受けながらも部下800名と必死に戦っていました。

その激戦の最中、岩陰に隠れていた幼い少女たちが、ぶるぶる震えながら小城隊長に『私たちは、ここで自決します。お願いです、手榴弾をください』と叫びました。小城隊長は大変驚き『あなたたちは国際条約で認められた非戦闘員、ここに一緒にいるから攻撃される。ここから、すぐ離れなさい』と、教え諭しました。少女たちは、ハンカチを白旗代わりにして、その岩陰から出て行ったのです。

それから60年後、老婦人となった当時の女子生徒が、NHKテレビや学研発行の『歴史の群像』(隔月刊誌)で、『あの時の、あの将校さんの言葉がなかったら私たちはあそこで死んでいました』と、当時の激戦の様子を切々と語り、このことが全国に報道されると大きな反響を呼びました。

この小城隊長が加治木中学時代、一緒に遊び遊んだ学友、小城君と知った私の感動はまたひとしおでした。

■後輩のみなさんへ

私たちの青少年時代は、満州事変、日中戦争、太平洋戦争と、戦争につぐ戦争、日本歴史に残る激動の時期でした。

昭和16年12月8日、太平洋戦争が始まると、すぐ卒業を繰り上げて学徒出陣。にわか仕込みの将校に仕立てられて、各地転戦のあと、昭和20年の終戦の時は、日本から4千キロ南方のニューギニアの屋敷にお暗いジャングルの中でした。戦争が終わっても帰る船はなく、やつと帰国できたのは、約1年後、昭和21年7月、和歌山県田辺港でした。死に損ないの敗残兵、悲痛な思いの帰国でした。

そのため私の生涯は、戦争抜きに語ることはできません。そのような悲惨な戦争は二度と起きないようにと、今回、お話をさせてもらいました。

この豊かで平和な時代も、こうした先輩たちの上になり立っていることを憶えておいてください。併せて、今後とも同期会、同窓会の縁を大事にして、母校と同窓会をさらに盛り上げていってください。

※当時の写真や新聞、諸資料を来る総会当日(6/7)に添えて展示しますので是非ご覧ください。(編集部)

### 同窓生だより

昨年の総会時の「返信ハガキ・通信欄」から転載。そのため時期に1年のずれがありますのでご了承ください。

◆馬齢を加えましたが、まだ自立して生活しています。都合により参加できませんが、皆さんの健勝と盛会をお祈りします。  
(中・昭19) 西園敏則(横浜市)

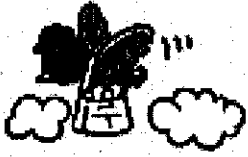
◆同窓会だより、楽しく拝見しました。元氣です。残念ですが遠出が出来ません。益々の御盛会を祈ります。原田実様(高・昭29)おなつかしいです。加治木柁城小で教師をしておりました頃、五・六年生でした。空襲の折、防空壕の中で先生方と囲碁に熱心でしたね。可愛い坊っちゃんでした。大変な御活躍喜ばしい限りです。益々活躍くださいませ。  
(女・昭19) 吉留和子(旧姓・市来)(町田市)

◆読光新聞夕刊で何気なく目にした加治木の三文字に端を発して、朝刊受領の為ポストを開け、龍門会の豊富な資料の山にびっくり。素早い対応に驚きと感謝のひと時を送りました。齢を重ねますと、故郷を、友を、恋う気持ちちがひとしお強くなります。夕刻、前原様の御来駕を機に話は、横川、栗野一円から、横川会会長、原口様、旧友、中野ひろみさん(高・34年)の元氣な声を拝聴するところまで発展し、旧事の追懐極まる感一杯で充実した一日を送ることが出来ました。(中・昭20) 高橋渉(江東区)

◆各地の皆さんの楽しいお便りを拝見いたします。年寄りもまた新しい元氣が湧いてきます。閑東龍門会報、毎回懐かしく楽しく拝見しています。一昨年、九州新幹線の全線開通で鹿児島と青森が新幹線につながり、鹿児島から福岡が80分、大阪が4時間、ぐんと近くなりました。そうして昔の西駅が鹿児島中央駅になって、鹿児島が一段と大きな脚光を浴びるようになりました。それは大きな喜び感動でした。反面、これまで鹿児島本線の始発駅、鹿児島島の玄関として華々しく活躍していた鹿児島本駅が、すっかり寂れて小さなローカル駅になってしまいました。先年、久しぶりに帰り、旧鹿児島本駅の前に立っていると、時代の大きな流れ、激動のドラマを目の前に見ているようで、昔の色々の思いが込み上げしばし呆然、動けませんでした。  
(中・昭13) 吉満肇(横浜市)

◆90才の坂を越えて人生の限界を知らされ週2回のデイサービスを楽しんでいるこの頃です。歩行困難で出席できません。龍門会の盛会を祈ります。  
(中・昭15) 橋本藤任(旧姓・久松)(船橋市)

◆(私は瀬戸千鶴子の娘で中西志保美と申します。)母は今年の1月18日で満88歳の米寿を迎えることが出来ました。しかし、残念ながら認知症を患い、現在要介護2〜3に進行中です。85歳の4月に鹿児島に3泊4日の旅行をいたしました。その時から記憶がまぼろしになり始めました。自宅にて私と主人で介護しておりますが、以前の姿を記憶しておいて戴けました。益々のご発展をお祈りいたします。  
(女・昭16) 瀬戸千鶴子(旧姓・新澤)(杉並区)



◆昭和25年卒の役員に敬意を表します。当方は老成著しく(特に頭脳)、家に閉じ籠らぬ努力を継続中です。  
(高・昭25) 小濱嘉郎(埼玉県入間郡)

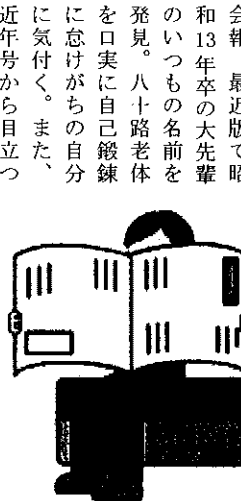
◆会報を見るのが楽しみです。これも役員の方々の御苦労のおかげの事と感謝いたしております。今村彬さんの「あの人を訪ねて」を読んで、私も同期なのに、男性は頑張るのだなあーと思いました。私は今も去年の末から引きずっている体の検査の疲れで、体調に自信がなく、近所を歩いて元氣を出しているところです。何事をするにも、過ぎない様に氣を付けています。(82才)  
(高・昭25) 高橋いち子(旧姓・田中)(茨城県小美玉市)

◆読碁同好会は高段者だけのものではありません。私が居る間に大勢の初心者の方のご入会を切望致します。  
(中・昭23) 市来秀夫(横浜市)

◆コンピニまで100メートル足らず、郵便局まではバスに乗って三つ目のバス停、年を取ると歩くのもおっくうです。出来れば会費はコンピニ振込みが出来るようにしてください。総会の盛会を祈ります。  
(高・昭24) 濱田哲夫(武蔵野市)

◆毎日、散歩・運動・eに努力しています。  
(高・昭25) 鮫島貞集(横浜市)

◆いつも楽しみの会報。最近版で昭和13年卒の大先輩のいつもの名前を発見。八十路老体を口実に自己鍛錬に怠けがちの自分に気付く。また、近年号から目立つ寄付金のお願ひへ



◆努力に賛成。タマが無ければ鉄砲も無用の長物の折角の知恵、やる気も資金不足では無理。役員各位の積極姿勢に好感。(ゼンのこちゅ言うな、は1931年生まれの古人間の言葉と自戒。)  
(高・昭25) 森山耕二(東村山市)

◆年齢相応に元氣です。80歳代になり心身共に老化が一層進んだようです。「呑めるうちには花」ではありませんが、晩酌が楽しみで酒だけは常勤です。  
(高・昭26) 酒匂昭男(板橋区)

◆私達三期生は旧制中学一年から入学し新制高校へ切り替えがあり、学制改革で合計6年間加治木高校で学びました。これは、とても良かったと思っております。全国で公立高校が中高一貫教育として6年間試行されています。同期生は80歳を超えましたが平成24年、城山ホテルで80人集まり祝えました。  
(高・昭26) 本田一(練馬区)

◆傘寿に王手目前となりましたが老々々で年相応に暮らして居ります。同期の長野会長御苦勞様でございます。会長を始め皆様とお会いしたいのは山々ですが諸事情で欠席させて頂きます。  
(高・昭27) 岩井田美津子(旧姓・中村)(相模原市)

◆昨年傘寿のお祝いをさせて頂いた。この4月にわかに描き溜めた絵画を「鎌倉ギヤラリー」で個展を催しました。永い生を得たことは神仏と皆様のご加護によるものである。八幡宮の前で謹んで御礼の心を込めて個展を奉納した。これからも出来る範囲で世の為、人の為を心掛けて参りたいと思ひます。御賛助頂いた皆様に本紙上を借りて御礼申し上げます。  
(高・昭27) 木佐木卓郎(横浜市)

◆加齢と共に忙しくなる不思議な人生ですが、何とか元氣にやっています。近々弟の遺骨の埋葬に帰鹿します。また桜島に慰められ新たなファイトを燃やしてきたいと思っています。  
(高・昭27) 窪田正視(川越市)

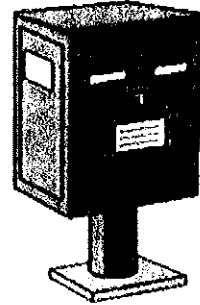
◆近況1：今年の冬は全国的にも寒いようですが、北海道(千歳市)では五月上旬になり少しずつ気温が上昇し始めて、今やつと鹿児島島の真冬程の気温になりました。「接前線」が北海道に上陸するにはまだ数週間はかかりそうです。近況2：五年前に立ち上げたモンゴメリー原作「赤毛のアン」の原書講読会で第3巻「Name of the Island(アン)の愛情」を読み始めました。第6巻まで読むにはあと10年はかかりそうです。  
(高・昭27) 新村敏郎(千歳市)



◆今年傘寿になりますがお陰様で一応元氣に過ごしております。役員皆さんご苦勞様ですが、若い人々の出席にご努力願ひます。メール所有の会員間のメール交流の道を開拓願ひます。  
(高・昭27) 吉川悦郎(大田区)

◆同期生に会いたいので、総会出席と回答をしたが、ゴルフコンペや旅行のため欠席との返事があり総会日時をもう少し早く判つていれば総会を優先したとの声もあった。役員皆さんがボランティアで努力されているのに恐縮ですが総会日時をもう少し早い時期に会員に知らせることが出来ないか、検討してみてください。関東龍門会の発展を創設者の一人として祈ります。

(高・昭29) 岩元隆 (八王子市)  
(編集部より) 貴重なご意見ありがとうございます。関東龍門会総会は毎年6月の第一土曜日開催を原則としております。従いまして、来年度(平成27年)総会は6月6日(土)の開催(予定)となります。



◆関東龍門会の御案内をいただき、関東鹿兒島県人会連合会主催の平成25年4月21日(日)のセミナー(三州倶楽部)演題「桜島大正噴火から100年を迎えて」講師「京都大学防災研究所火山活動研究センター長・井口正人教授」に参加致しました。井口先生の長年の桜島の火山活動の観測研究に基づく古代、江戸時代、大正戦後、現在の噴火活動に関する講演を聴き桜島に対する認識を深めることが出来ました。昭和22年の噴火の前に遠足での桜島登山は懐かしい思い出です。(高・昭29) 榎谷惟光(千葉市)

◆78歳になりました。荒川の屋形船を楽しんだりし、人生の終末を見つめています。総会当日はあいに伊勢旅行と重なり欠席とさせて頂きます。来年初元気分出席出来ると思います。(高・昭29) 富田幸一(さいたま市)

◆喜寿を迎え、足腰などの体力や気力が益々減退していくのを実感しています。我々高7期の関東地区同期会は毎年11月の第2土曜日に開かれますが、この折だけは妙に若返りを感じています。今年も多くの同輩達に会いたいです。(高・昭30) 長谷場純一(横浜市)

◆平成24年5月、囲碁同好会春季大会に参加した内田修君とはよく野球談議をした。彼は巨人ファン。小生は阪神ファンだった。ある日、内田君「9回裏、別所のサヨナラホームランで巨人が勝ったのか」と思った。小生もそう思った。しかし事實はそうではなかった。翌日のスポーツニュース「試合は0対0のまま9回裏巨人最後の攻撃。2死1塁でバッター別所は2ストライク3ボールのフルカウント。6球目をたたいた打球は大きく弧を描いてライトスタンドへ。ライト懸命にバックして空を見上げました。フェンス直撃の3塁打となってランナーホームイン」今も心に残る楽しい思い出。(高・昭30) 園田恒明(草加市)

◆肺癌は完治(9年経過)しましたが治療時に受けた放射線の後遺症で声帯に少し支障をきたしていますが元気にしています。御盛会を祈っています。(高・昭31) 上原輝彦(四街道市)

◆相も変わらず下手なゴルフとカラオケを続けています。来年は龍門会からオリジナルの記念品頂くことを楽しみにしています。(高・昭31) 武田憲昭(江戸川区)

◆喜寿を迎えました。振り返れば60年前、物質的に豊かで無かった時、在学していた我々でしたが苦しくても楽しかった往時の学園生活を同期の皆さんと語りたいです。節目の年、関東龍門会総会でお会いしませんか。2年に1回開催されていました同窓会も喜寿を最後(鹿兒島市内ホテル)と聞き及んでいます。(高・昭31) 杉田脩(鹿嶋市)

◆年と共に食のことが大事ですね。田舎の野菜食、とり(地鶏)必ず取りたいです。又探し求めてもなつかしく食べています。(高・昭31) 鈴木トシ子(旧姓・満塩)(江戸川区)

◆病院に行けば何でも加齢の所為で片付けられ、菓さえももらえないことも。日課にしていた毎日の散歩もサボり癖がつき、心を入れ替えようと努力中です。同期会で旧友と会う機会が楽しみです。そのチャンスも僅少です。(高・昭31) 堀之内亨(町田市)

◆2012年3月末で50年のサラリーマン生活を終了しました。しかし、従来からのつながりで、人事、資金面等でご相談があり、引き続き仕事を続けております。6月2日は海外に行っており出席できません。頑張っています。(高・昭32) 市来研志(千葉市)

◆血縁の者も居なくなり鹿兒島も遠い土地になりました。(高・昭34) 小久保紀光(南埼玉郡)

◆また、1年経ち何とか齢を重ねる事が出来ました。今の所元気。時は今でしょ！今じゃつど。(高・昭34) 上西康生(川口市)

◆会の運営に携わっておられる役員の方々、いつも感謝しております。今年も元気で先輩、後輩の皆様方とお会い出来るのを楽しみにしています。健康を保ち、同好会のゴルフコンペにも出来る限り参加したいと思っています。会の繁栄を祈っています。(高・昭34) 別府陸雄(川崎市)

◆今年は3月に4年4か月ぶりに帰省しました。沢山のなつかしい人に逢う事が出来まして満足でした。ただ一つだけ念願が叶いませんでした。又いつの日かこの宿題を果すのを目標にしたいと思っております。(高・昭36) 高橋ミチ子(旧姓・福水)(春日部市)

◆教職を退職して10年になりました。現在、シルバー人材センターの補習教室で小4年の国語算数を指導しています。(高・昭37) 花田敦子(旧姓・竹下)(三鷹市)

◆上海にて中国系ソフト開発会社を支援中です。(高・昭38) 新富征人(川崎市)

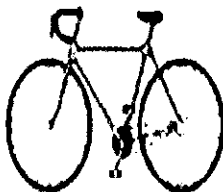
◆国際医療福祉大学熱海病院に勤務しています。6日間に1度の日当直(24日)勤務があり救急車及び急患の電話受付、直接受付の業務を行っています。(高・昭39) 佐藤雅秀(旧姓・鎌田)(静岡県伊東市)

◆6月2日〜7日まで九州温泉旅行に行きます。大分(湯布院)〜熊本(やまなみハイウェイ)〜霧島(指宿)まで5泊6日で走破しようと思つてます。(高・昭39) 長島健一(相模原市)

◆今年も5月19日(日)おはら祭が渋谷にて行われます。私達も「霧島市ふるさとおどり連」の仲間として出席します。あまり暑くない好天気になるよう祈つています。皆様も一緒にいかがですか。(高・昭40) 萩原法子(旧姓・指宿)(横浜市)

◆腰痛がなかなか改善しません。それ以外は元気で。(高・昭40) 嶺崎耕一(佐倉市)

◆同期の海江田怜さんが「関東龍門会」の会長になられたこと、心よりお祝い申し上げます。今回も総会に出席できず申し訳ありません。盛会を祈念いたします。(高・昭40) 森山浩二(世田谷区)



◆iPod touchに「関東龍門会」のページを作つたらどうでしょうか。若者が参加するかも知れません。よろしく願います。(高・昭41) 北原源平(富里市)

◆子育てが済んだら介護(母)と、人並みの主婦の人生を生きています。主人の母(101歳)の面倒を見ています。卒業してはや半世紀が過ぎようとしています。幸い加治木の夫でしたので、加治木高校は帰加の際は門外から見えています。なつかしいです。加治木高校41年度卒の皆さんにも会いたいです。今こんな立場です。いつか龍門会に出たいと思つています。(高・昭41) 小林糸路(旧姓・大重)(鶴ヶ島市)

◆この4月「65歳までは働く！」を成就。まずは自分に花丸をあげました。次は「70歳までは働く！」を目標に、目下推進中です。二重花丸を…。今、川柳にハマッテいます。過日、朝日新聞の朝日川柳に掲載されました。

(高・昭42) 大迫勝尋 (川崎市)

◆実父が今春逝去しました。4〜5年前から年数回帰鹿し見舞い、介護等でいささか疲れも感じましたが、最後はさほど苦しむことなく旅立ってくれたことに安堵しました。

(高・昭42) 藤井豊幸 (さいたま市)

◆本年2月末より人事異動で富士吉田市に移りました。仮住まいをみつけれ単身赴任中です。窓からは富士山が見える職場とアパートで、まるで鹿児島の実家で毎朝桜島を見ていた事を思い出します。前原さん、お世話さまです。また参加出来ればいいのですが。

(高・昭43) 大久保令子 (甲府市)

◆幹事業務ご苦労さまでございます。小生は昨年10月で、会社定年後の嘱託も終って無職となりましたが、アルバイトで週1回の報道部徹夜デスクをしております。毎週水曜朝ニュースも読んでおります。良かったらラジオのニッポン放送を聞いて下さい。

(高・昭43) 勝山達志 (旧姓・田畑) (松戸市)

◆先日、蒲生中学同窓会で、「おいどん・渋谷店」を利用して頂きました。同郷の原口社長にお世話になりました。

(高・昭43) 国生卓 (川崎市)

◆幹事の皆様、大変御苦労様です。東京駅の改修工事に従事して10年目になります。平成25年度総会の盛会を心より祈念致します。

(高・昭44) 岩井隆一 (旧姓・福元) (文京区)



◆定年となり、時間も出来なかったので30年ぶりに参加してみます。さつま隼人の気概は人生を渡る為に変な心の支えとなりました。日本社会を一人一人の心構えでより良くしたいものです。

(高・昭46) 田中昌之 (日野市)

◆昨年11月23日(一泊)、霧島ロイヤルホテルにて還暦同窓会を行いました。先生お二人を含めて107名の参加で盛り上がりました。卒業以来の方々との再会もあり、二次会持ち越しで話が尽きないひと時でした。

(高・昭46) 中園悦朗 (西東京市)

◆今年の4月から民舞(民謡に合わせて踊る)を始めました。60の手習いです。10年は続けたいと思っております。

(高・昭46) 橋口恒子 (旧姓・山元) (江戸川区)

◆10年ぶりに加治木に行ってきました。町並みが様変わりしていてビックリしました。作り立ての加治木まんじゅうとあく巻きがおいしかったです。今年も還暦同窓会が中学、高校と2回ありますので参加するつもりです。懐かしい顔と美味しい物を食べられるのを今から楽しみにしています。

(高・昭47) 米倉道代 (旧姓・郡山) (江戸川区)

◆初めて参加させて頂きます。今年47年卒24期生は還暦を迎えます。地元で中学、高校の同窓会も盛んに行われ45年ぶりの再会にとても懐かし、昔話に花が咲きました。会報を読ませて頂き春日部にも卒業生がいらっしゃると思いき嬉しくなりました。関東在住の24期生は毎年11月に同窓会を開催しています。是非参加して下さい。

(高・昭47) 渡部順子 (旧姓・竹下) (春日部市)

◆夫が病気になるに介護しています。又、行かれるようになつたらよろしく願います。孫は3人(男の子二人、女の子一人)になりました。

(高・昭51) 佐藤安子 (旧姓・境田) (世田谷区)

◆龍門会のお蔭で、同窓生と久々に会う事が出来ました。時々集まって近況を語り合っています。鹿児島まで！

(高・昭52) 赤津まゆみ (旧姓・諏訪) (所沢市)

◆友人と東京駅前の丸ビル35階で食事をしました。そこから初めて皇居を上から見てとても感動しました。

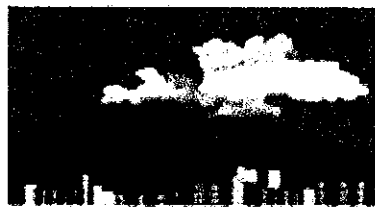
(高・昭52) 多田香代子 (旧姓・渋谷) (横浜市)

◆二人の妹も加高の卒業生で、大阪堺市と北海道新得町にいます。下の妹は3年生の時、黒木校長が担任だったらしいですよ。

(高・昭53) 宮原絹子 (港区)

◆昭和54年卒の皆さん、お元気ですか。私事ではあります。子供二人、大学卒業、社会人となり、これからの自分の人生、仕事を含めどのように日々を送るか模索中です。また、新しいコミュニティの場として、平成23年から関東地区同期会(幹事・脇岡弘典君)を開催しています。会報一覽の同級生の皆さん、連絡をお待ちしています。

(高・昭54) 大岩根 正浩 (綾瀬市)



◆本年は残念ながら参加できません。御盛会を心よりお祈り致します。高校生の時に担任でお世話になった黒木校長にもどうぞよろしくお伝え下さいませ。

(高・昭59) 大重光太郎 (越谷市)

◆同期の間とは定期的に飲み会をしています。総会参加を促すことに努めたいと思います！

(高・昭63) 海江田健司 (練馬区)

◆毎回の会報を楽しみにしています。今年も総会参加は出来ませんが、御盛会をお祈り致します。

(高・平3) 西原真仁 (大田区)

◆総会には同期の本田君も参ります。日程の都合さえ付けば参加してみたいという友人が何人かいました。来年はもう少し人数が増えるかもれません。

(高・平5) 坂元辰哉 (川崎市)

関東龍門会の事業について

平成26年度は下記の事業(活動)を計画しています。活動についてご提案、ご意見がありましたらTEL、メール、ホームページへの書き込み等でご連絡くださるようお願いいたします。

平成26年度事業計画

囲碁 春季大会	5月15日(木)
春期 ゴルフコンペ	5月16日(金)
総会・懇親会	6月7日(土)
秋季 ゴルフコンペ	11月中旬(開催日未定)
囲碁 新年会	27年1月17日(予定)
詩吟 初吟会	27年1月19日(予定) (毎週水曜が練習鍛錬会)

★話題が一杯！関東龍門会ホームページ  
関東龍門会では、ホームページを開設し、母校や同窓会のニュース、会報バックナンバー等を掲載しています。会員の皆様ぜひアクセスしてみてください。

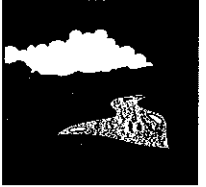
HPアドレス  
www.ryumonkai.com

◆ご了承ください  
この他に、「総会に出席できません」、「盛会を祈ります」、「幹事に感謝します」等のメッセージを多数いただきましたが紙面の都合上割愛させていただきました。

◆「訃報」は掲載しておりません。  
当会報では以前会員の訃報をお伝えしておりましたが、全会員の情報把握に限界があり、その結果、情報に偏りが出ること等を考慮し、「訃報」の掲載をしております。何卒ご了承くださいるようお願いいたします。

# 同好会 ニュース

参加者大募集！  
体の健康な毎日！  
頭の体操、なまじょう！  
操で健康な毎日！



## ゴルフ同好会

ビギナーもベテランも...！  
\*今年の春季コンペは5月17日開催！

ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回コンペを開催しております。喜寿・傘寿の大先輩から後輩の垣根を越えた楽しいコンペです。平日開催ですが、若手の参加をお待ちしております。



初参加の方もすぐに打ち解けることができますので今年が初めての方も是非参加下さい！

「2014年度 春季コンペ」  
5月16日(金) 武蔵野ゴルフクラブ  
・スタート O U T 9時01分

ゴルフコンペ参加希望者は「総会案内はがき」返信欄に参加意思をご記入下さい。幹事に直接連絡いただいても結構です。

〔幹事〕川井田信雄(高・昭45)  
〔TE〕043・250・4478  
〔携帯〕090・1692・4785  
2013年度 秋季大会(11月21日)成績

- 優勝 田中 昌之(高・昭46)
- 準優勝 福村 正美(高・昭53)
- 3位 海江田 怜(高・昭40)
- 4位 武田 憲昭(高・昭31)
- 5位 川井田信雄(高・昭45)
- ベスグロ 川井田信雄(スコア90)

## 囲碁同好会

「碁で脳の老化防止を！」  
今年も原田名誉アマチュア本因坊を  
お迎えし開催予定

昨年(平成25年)の春季大会には原田実氏(高・昭29)・三州倶楽部囲碁同好会から3名の方の特別参加を得て合計15名で賑やかに進みました。また、今村彬・元会長(高・昭25)は会の様子をビデオで撮影していただき、後日参加者全員にCDを無料で頂きました。誠に有難うございました。

今年の新年の大会は開催日が三州倶楽部囲碁同好会と重複し、数名の方がそちらの会の方に流れて、残念ながら当会へは3名のみ参加でした。幹事の不手際をお詫びいたします。

2014年春期囲碁同好会  
5月15日(木) 三州クラブ会議室にて  
午前10時から午後15時まで

各回の参加者は以下のとおりです。  
(春季大会・平成25年5月15日) 参加者12名

- 市来秀夫 初段(中・昭23)
- 今村 彬 五段(高・昭25)
- 井ノ口弘 二段(高・昭41)
- 上原孝司 三段(高・昭29)
- 海江田 怜 四段(高・昭40)
- 立山 勲 四段(高・昭30)
- 玉利勝正 五段(高・昭26)
- 長野忠雄 八段(高・昭30)
- 原田 実 名誉アマチュア本因坊(高・昭29)
- 柏村栄八郎 八段(三州倶楽部)
- 三宅征夫 二段(三州倶楽部)
- 森田雄太郎 三段(三州倶楽部)
- (新年大会・平成26年1月18日) 参加者3名
- 市来秀夫 初段(中・昭23)
- 海江田 怜 五段(高・昭40)
- 森田雄太郎 三段(三州倶楽部)
- (幹事)海江田 怜(高・昭40)
- 〔TE〕0467・8614068



## 詩吟同好会

詩吟は「和・輪・笑」を楽しもう！  
今年1月21日に初吟会を開催しました。

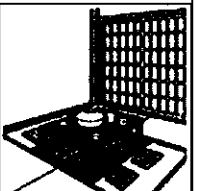
恒例の初吟会も3年目を数え、今年も新宿西の明治安田生命ビルで1月20日に開催しました。今回も数名の関東龍門会歴代会長に海江田会長以下10数名の関東龍門会会員仲間を迎え、そして、協賛の千代田岳精会の仲間も含めて総勢54名もの参加者を頂き、同好会員7名が夫々の雅号で日頃の練習成果を存分に発揮出来た発表会となりました。

今回の第一部企画は「西郷南洲翁を偲ぶ」の構成吟というところもあり、我ら薩摩人には並々ならぬ思い入れを各人が持ち合わせているだけに、吟友の輪が会場一杯に満ち、例年以上の盛会となりました。そのお蔭で終了後の懇親会にも交流の輪が続き、繋がりを更に深めることができました。



数多い健康方法の中でも、腹の底から声出しして吟じるものに勝るものはありませんので、健康維持に「興味ある方は是非」参加を検討下さい。  
(幹事)川口榮三(高・昭26)  
〔TE〕04227341225

## 同期会報



このコーナーは、この年この集まりの辛口お知らせです。

### ■加中44期(昭和20年4年生卒) 関東同期会

平成26年11月14日(金) 13時~15時半、例年の「北の海道」で開催予定。目標の米寿まであと3年。昭和の語り部として紙上同窓会にも参加出来る様に随筆を書き留めておいて下さい。  
幹事 飛松謙哉・南川一郎・深川忠志・上藤悟

### ■加高3期(昭和26年卒) 「てんがらもん会」

①有志の会(於：東京理科大学理窓倶楽部) 毎月1回15時実施。日時は前の会の時に決定  
②お蔵い6月7日(土) 目黒・大島神社10時45分  
③総会12月6日12時半(於：東京理科大学理窓倶楽部) 酒匂昭男

### ■加高6期(昭和29年卒)

(日時)平成26年4月16日(水) 18時半(場所)霧島ホテル④4月16日(水) 14時に母校グランド大楠に集合。母校散策、写真撮影、校長との懇談後、会場へバス移動。②4月17日(木) 観光(霧島神宮・えびの高原・高千穂牧場)竜馬記念館・鹿児島空港・加治木で解散 榎谷惟光

### ■加高7期(昭和30年卒) 「東京さおら会」

毎年11月第2土曜に開催。今年は、11月8日(土)12時半開会・東京お茶の水「銀座アスタ」お茶の水賓館」で開催します。昨年(22名)以上の同輩の参加を期待しています。長谷場純一

### ■加高8期(昭和31年卒)

①平成25年10月27日(日) 28日(水) 広島県廿日市市宮島及び厳島。幹事 在郷組男女十在京組と合流、男子21名、女子19名。新幹線の御蔭で遊遊して楽しめました。  
②平成26年11月11日(火) 12日(水) 鹿児島・城山観光ホテルで在郷組、在京組と合同実施の予定です。 新村菊雄

### ■加高9期(昭和32年卒)

平成25年関東地区同期会(日時)平成25年11月7日(場所)新宿駅南口・ホテルサザンタワー1階アーバンルーム(参加者)14名(幹事)坂元享氏

尾崎初代氏。今回は加治木の堀切薫氏が郷土の手土産のさつま揚等を沢山持参。昔懐かしさを味わいながら郷土同期会の話などで旧交を温め、皆元氣一杯。5月25日に合同喜寿祝を霧島で開催予定。 細川時子

### ■加高11期(昭和34年卒)

第11期生は関東地区に70余名在住。年1回の同期会をここ20年以上に亘り開催してきました。平成26年は4月22日に東京・新橋の会場で開催します。多数の方の参加を期待しています。 満州泰啓

### ■加高12期(昭和35年卒)

節目となる第50回「柁の木会」を平成25年12月7日(土)に開催。高木(鈴木)先生をはじめ、加治木から法元隆男さん、名古屋から参加の北田ケイ子さんを含む22名が相集い50回記念にふさわしい楽しい会合になりました。今年、51回目は12月6日(土)に開催します。 稲留節徳

### ■加高13期(昭和36年卒)

①今迄22・23年連続同窓会実施、日帰りと一泊旅行同窓会を1年交互に、時期は10月の第2か第3の土・日。②今年度からは10月の第3水曜日に固定、泊の旅行会なし。 児玉重人

### ■加高16期(昭和39年卒)

平成26年2月23日開催の東京マラソンに加治木の古江泰子(旧姓・永田)さんが参加。コース途中の浅草寺付近で応援し、翌日の24日に関東地区39会同好会を「歓」で実施。彼女を含め16名出席。今年11月に関東在住者で開催予定。 相羽孝師

### ■加高20期(昭和43年卒)

郷土開催の感動の還暦同期会から早や5年。65歳の節目を記念しての合同同期会を8月16日(土)鹿児島で開催予定。◎代表幹事 奥屋悦仁 前原澄雄(080・5430・7488)

### ■加高31期(昭和54年卒) 関東地区同期会

昨年度の実施結果①平成25年7月6日東京・神田34名参加(男性19名、女性15名)②平成25年11月30日東京・神田29名参加(男性16名、女性13名)

今年(夏季)平成26年7月5日(土)(場所)東京・神田(冬季)平成26年11月29日(土)(場所)東京・神田 ◎幹事 脇岡弘典 問い合わせ連絡先 大岩根正浩(080・5055・7581)

